

東日本大震災被災地支援への取り組み

よどがわ市民生協は、基本方針で「生命(いのち)とくらしや健康を守る」ことをかかっています。今こそ、組合員同士の「協同」「共助」や生協間の連帯を強め、被災者の「生命とくらしや健康を守る」取り組みを最大限すすめるため、4月11日(月)の理事会にて今後の震災対応の方針を確認しました。

今後の震災対応方針について

1 被災生協の再生に向けた支援活動

全国の生協とコープ共済連合会では、東日本大震災により被災されたCO・OP共済契約者を訪問し、共済金とお見舞金の案内をしています。甚大な被害を受けた地域には、避難所でチラシを配布したり、受付を設置し契約を確認する活動も行っています。よどがわ市民生協は訪問活動支援のため、職員から希望を募り、4月から5月まで計4名を派遣します。今後も日本生協連やコープ共済連の要請に応じて対応します。

2 被災者の生活再建に向けた支援活動

組合員のみなさんへ募金(義援金)へのご協力をお願いします。また、被災して大阪に居住される方への支援(近所の班の紹介や個配手数料1年間無料措置)を行います。また、4月5日よりインターネット注文のeフレンド限定で、被災されたメーカー・産地の支援企画を開始しました。「東日本大震災支援全国ネットワーク」にも加入し、様々な活動をおこないます。

<http://www.jpn-civil.net/>

3 よどがわでの商品供給、組合員への情報提供

3月4回配達分以降、被災地に向けた支援物資の送り込みが全国的に最優先とされたことに加え、被災地の商品製造工場や包材・資材、原材料工場の被災によって、商品の生産や出荷が大幅に制約され、組合員の皆さんには大変ご不便をおかけしております。水など、欠品が長引く商品は生産状況をお知らせします。農産物や水産物など、放射線物質の暫定基準に基づき制限されているものは供給しません。

今後も計画停電の影響もあり、長期的に力タロクに載らない商品が発生することが予想されます。供給再開時には、数量制限や量目変更を行うこともあります。ご理解をお願いします。商品の供給状況については、配送で配布するチラシやよどがわ生協のホームページで、欠品・遅配・代替などの情報をお知らせしていますのでご覧ください。

<http://www.yodogawa.coop/>

募金の取り組み

よどがわ生協が注文書の募金欄と店舗などで受け付けた募金は、4月22日時点での集約で1,514万3,819円になっています。寄せられた募金は全額、日本生協連で集約し、被災地県を通じて義援金として被災者に届けられます。復興には長い月日がかかり、全国からの長い支援活動が必要で、消費を自粛するのはなく、被災地のことを思いながら、日常生活を送ることが大切であり、それが被災地を支えることに繋がります。よどがわ生協も、息の長い支援をしていきたいと思っておりますので、組合員さんの温かいご支援と募金活動にご協力をよろしくお願いたします。

募金は5月4回注文書まで続きます



被災地への支援活動報告(第2報)

前号の機関紙で報告した内容以降の支援活動について報告します。



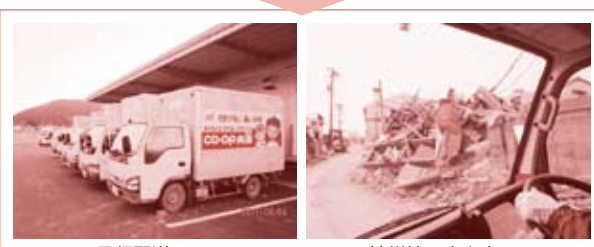
宮城県へ出発!

3月31日 支援物資お届けと現地支援をみやぎ生協へ(2名) (第2陣) 地図づくり

<第2陣でお届けした支援物資>

軽油約600ℓ・灯油36ℓ・みやぎ生協から依頼があったお菓子セット485人分をよどがわの配送トラックで届けました。

みやぎ生協本部に到着後、天井が落ちた会議室で、組合員訪問用の地図作成を手伝いました。支援物資の配送仕分けを手伝い、カタログ通販「スクロール」さんから提供された衣類や靴を満載し、石巻へと向かいました。仙台市から車で70分かかって生協の石巻支部に到着。電気は通っていましたが、水道は復旧しておらず、支部の隣の野球場は自衛隊の臨時駐屯基地となり、テントで埋め尽くされていました。みやぎ生協ではトラックの燃料は地元の方に迷惑がからないように、職員が自分でポリ缶から給油されていました。



同行配送へ

被災地の中を走る

4月3日~9日 みやぎ生協配送支援(1名) (第3陣)

みやぎ生協の配送支援のため職員1人が仙台に向かいました。みやぎ生協の職員と共に、組合員の安否確認をしながら、注文書をお届けしました。1つのコースで60名の組合員さんを回るのですが、日によってはお会いして注文書を回収できたのは3分の1ぐらいでした。支援期間中に大きな余震もあり、被災地の切実な状況を体感しながら、配送同行を続けました。

NEWS FILE

ニュースファイル

いちご狩りバスツアー 天王寺動物園で学習

淀川行政区委員会主催

4月17日(日) 場所: 紀ノ川農協

春満喫♪いちご狩りバスツアー

晴

天にも恵まれ、11家族32名で紀ノ川農協さんにお邪魔しました。午前11時にいちごハウスに着すると、真っ赤に色づいたいちごがたくさんあってるのが見えました。生産者の前田さんから「真っ赤になっていいるいちごを食べてもいいし、パックに詰めて帰ってもいいよ」と説明があり、参加者みんないっせいにハウスの中へ。ハウスの中からは、「おいしー!」「真っ赤かだー!」とさささく声が聞こえてきました。食べたり、パックに詰めたりと大人もお子さんもお忙し。いちごハウスの中は、外よりも気温が高く、みなさん汗だくになりながら、いちご狩りを楽しみました。帰りのバスの中では、「また来たい!」「大満足です!」という感想であふれていました。



おいしそうないちごたち。どれをとろうか...



あつという間に時間がたっちゃったね〜と大満足でした

サクサクおいしいいちごジャムパイ

材料.....
冷凍パイシート.....2枚
卵液.....適量
いちごジャム.....適量

- 作り方
- 冷たいオープン鉄板にフッキングシートをひき、解凍したパイシート1枚を置き、中央にいちごジャムをのせ、縁に卵液をぬります
 - もう1枚解凍したパイシートを縦半分に折り、上端を2cm残して2cm間隔に切り込みを入れます
 - 2を開いてから1にかぶせて縁をすべてフォークで抑え、表面全体に卵液をぬります
 - 200℃のオーブンで約20分焼きます

生き物学習で天王寺動物園に行く

春

休みということと、10組の組合員のご家族28名が集。園内で「ズースクール」を開催しました。動物のお医者さん 芦田先生が「動物の歯とウンチの話」をテーマに、草食動物と肉食動物は食べ物によって歯の形が違ったり、ウンチの大きさが違うこと、などのお話がありました。動物の歯やウンチの実物を見ながら小学生にわかりやすく説明していただき、小学生以下の弟や妹さんたちも楽しく学習しました。その後、アジアの熱帯雨林ゾーンのゾウ舎前でクイズを行うなど、桜が咲き始めた園内で楽しく過ごしました。



芦田ドクターがシマウマの頭蓋骨をみんなに見せているところ



お母さんも熱心に質問しました

参加した方からの感想

4トンのゾウのウンチが、1日50キロも出すと知ってビックリしました。動物園には何度も来ますが、今日はウンチの事や歯の勉強ができてよかったです。本物の歯やウンチが触れていい体験ができて楽しかったです。